

事業所名

留萌中部地域子ども発達支援センター

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025年

3月

12日

法人（事業所）理念		運動、ことば、友達との関わりなど発達に心配がある又は障がいがある子どもとその家族に対して適切な発達支援及び相談を行います。							
支援方針		地域の母子保健や福祉、保育・教育機関等と相互に連携、協力し子どもたちの成長を支援します。 自信をもって自分らしく生きる力を獲得し支えあう～自己肯定感・自己調整力の獲得。							
営業時間		9時	0分	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食事や排せつ、衣類の着脱など基本的な生活習慣の獲得を目指す。 ・生活リズムの向上を目指し、家庭と話し合いながら取り組む。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・運動活動を通して姿勢保持やの日常生活動作の向上、確立に向けての支援を行う。 ・子ども発達支援事業として、外部より作業療法士による支援を受け、個々に応じた課題に対して助言を受け療育に反映する。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・本児の気持ちや基準を肯定しながら、相手の主張や依頼も受け入れられるように相互にやり取りを楽しめるように関わる。 ・本児自身の努力している姿をしっかり認め褒めること、児のもつ不安を大人がしっかりと受け止め安心感を育てていくことを、家庭と児に関わる機関で共に行う。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい体験や場面が変化する時には、事前に展開や変更内容を視覚的、具体的な手がかりで伝えていく（絵、絵カード、文字、数字など） ・場面ごとに必要な表現や振る舞いを獲得する。また、要求、主張、謝罪等の体験を積み重ねていく。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・人への期待感や関心を高め、遊びを一緒に楽しむ（信頼感の向上） ・やり取り場面で相手の気持ち（意図）や場のルールに応じ、周囲から認め褒められる経験を積んでいく。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達や特性を家庭と共通に理解する場として支援会議を実施します。 ・半期ごとに保護者と共に支援プランを見直し、目標を設定します。 ・集団生活や兄弟児に関する相談を受けます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・入園、就学、転出など利用する機関等への引継ぎ、情報提供します。（子どもの心身の状況、支援内容、生活環境等） 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・3町村の子どもと関わる機関への支援を行います。（子どもの発達状況、課題を共有し支援の方向性を検討。臨床心理士による発達評価、支援会議やケース会議の実施。作業療法士による筋力面や身体操作、道具の操作方法などの助言） 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・療育支援の質の向上のため各研修会へ参加します。 ・日々の療育内容のアセスメント、実践後の検討、職員間での共有 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・お正月やクリスマスなど、季節にそって制作を行ったり、飾ったりしています。 ・夏休みには、年長さんのバス遠足、就学前には年長さん全員、年中さん全員集合しお楽しみ会を行います。 							

事業所名

留萌中部地域子ども発達支援センター

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025年

3月

12日

法人（事業所）理念		運動、ことば、友達との関わりなど発達に心配がある又は障がいがある子どもとその家族に対して適切な発達支援及び相談を行います。							
支援方針		地域の母子保健や福祉、保育・教育機関等と相互に連携、協力し子どもたちの成長を支援します。 自信を持って自分らしく生きる力を獲得し支え合う～自己肯定感・自己調整力の獲得							
営業時間		9時	0分	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキングや制作、係活動で手指の巧緻性や日常生活に必要な基本的習慣、身辺動作の向上、獲得を目指す ・うがい、手洗い、消毒等感染防止の知識を習得し実践につなげる ・就寝時間、食事等生活リズムや身だしなみの必要性の理解を深めていく 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・運動活動を通して姿勢保持や日常生活動作の向上、確立に向けての支援を行う ・子ども発達支援事業として外部より作業療法士による支援を受け、個々に応じた課題に対し助言を受け療育に反映する 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい体験や場面が変化する時には、事前に内容や変更事項を視覚的、具体的に伝え理解につなげる ・体験時には、手順を配慮して安心して活動できるよう支援を行う 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・やり取り場面で相手の気持ち（意図）や場のルールに応じ、周囲から認められる経験を積んでいく ・場面ごとに要求、主張、依頼、謝罪等の体験を積み重ねていく 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を信頼し、気持ちを共感する～お互いに良いところを見つけ認め合う ・一つのテーマで話し合い、それぞれの思いや感想を出し合いながら交流していく～相手の話を聴く、自分の気持ちを伝える ・小集団の中で役割を持ちルールに応じて活動し達成感、自己肯定感を高める 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達や特性を家庭と共通に理解する場として支援会議を実施 ・半期ごとに保護者と共に支援プランを見直し目標を設定 ・集団生活、きょうだい児に関する相談を受ける 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・就学先、進学先、利用する機関等への引継ぎ、情報提供をする ～子どもの心身の状況 ～行ってきた支援内容 ～生活環境 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・3町村の子どもと関わる機関への支援を行う ～子どもの発達状況、課題を共有し支援の方向性を検討 ～臨床心理士により発達評価、支援会議やケース会議の実施 ～作業療法士により筋力面や身体操作、道具の操作方法などの助言 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達への療育支援の質の向上のため各研修会へ参加 ・日々の療育内容のアセスメント、実践後の検討、職員間での共有 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・お正月やクリスマスなど季節に添った行事を設定し集団で楽しむ体験をする ・長期休暇時にはバス遠足を企画し公共の場でのマナーを学ぶ機会とする。又自由工作など時間を費やせる活動を設定し取り組む 							